

まちづくり交付金 事後評価シート
西大寺歴史と都の原風景創生地区

平成20年12月

岡山県岡山市

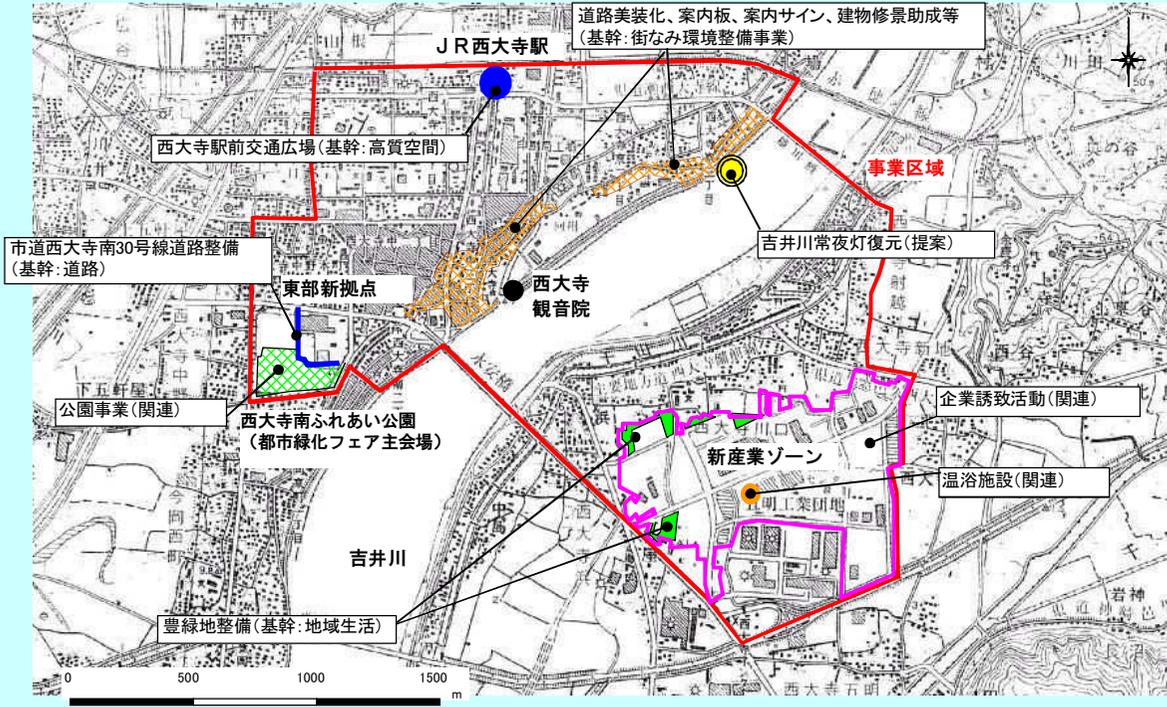
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	岡山市		地区名	西大寺歴史と都の原風景創生地区			面積	406ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	750百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	街なみ環境整備事業(下排水整備、案内板設置、道路美装)、地域生活基盤施設(豊緑地)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	吉井川常夜灯復元事業、街なみ整備計画策定事業									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	市道西大寺南30号線道路整備事業、高質空間形成施設(西大寺駅前交通広場景観整備)			全国都市緑化フェア主会場となる公園へのアクセス道の整備、緑化フェア開催にあたり来場者を迎える西大寺駅前の景観整備が必要になったため			当初より全国都市緑化フェアが開催されることを想定した目標・数値指標を設定していたことから、事業追加における影響はない			
			提案事業	事業効果分析事業			事後評価時に事業の効果の分析が必要になったため			事業の効果分析を行うため、影響はない			
交付期間の変更		当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	歩行者交通量	人/12h	170	H16	204	H20	-	208	○	あり なし	道路美装化、案内サイン・案内板整備などが、歩行者交通量の増加につながった。	H22年1月頃
	指標2	人口	人	10,975	H15	11,000	H20	-	10,700	×	あり なし	人口は減少したが、世帯数は伸びており、地区内への定住世帯数は増えている。	H21年5月頃
	指標3	ダルマガエル岡山種放生息数	匹	6	H14	150	H20	-	52	△	あり なし	個体数は増加したが、生息可能区域減などの影響により開発以前の個体数までは回復しなかった。	H22年3月頃
	指標4	景観満足度	%	31	H16	38	H20	-	51	○	あり なし	景観整備を実施したり、都市緑化フェアの開催により地区の景観は向上している。	H21年9月頃
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	観音院周辺観光ボランティア利用者数	人	597	H16			-	1,616			観光案内を利用する人数が増加しており、観光客の増加が確認できた。	H21年11月頃
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協定を定め、地区住民が協定に参加することで、地区に対する住民の意識が向上した。 建物修景助成制度の利用がH20年9月現在で8件あり、地区の景観保全に大きく貢献している。 平成16年に市民による観光案内ボランティアグループが発足した。観光案内だけでなく、小学校の総合学習へ協力したり、観光ボランティア養成講座の講師など活動が広がっている。 新産業ゾーン区域では、動植物保護地を確保し区域内に生息するダルマガエルの保護を行っている。これにより減少傾向にあったダルマガエルの生息数は現在、増加傾向にある。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	西大寺観音院周辺地区まちづくり協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 西大寺観音院周辺地区まちづくり協議会で検討を行い、景観整備を進めていった。また地区住民の間でまちづくり協定を定め、住民主導で地区の景観保全を進めた。					
	持続的なまちづくり体制の構築	西大寺緑と花の会、観音院周辺観光ボランティア 西大寺井戸端会議、西大寺観音院周辺地区まちづくり委員会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民主体のまちづくりに関連したボランティア組織のため、主体的な活動はグループにまかせ、市は後方支援に徹する。					

様式2-2 地区の概要

西大寺歴史と都の原風景創生地区(岡山県岡山市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:いつまでも心に残る「おかやまの原風景」を守り育てる中で、本地区では「歴史と都の原風景」を創出し、中心市街地の活性化を図る。 目標1 歴史的な町並の保全を柱とするまちづくりにより、往事賑わった門前町の再興を図る。 目標2 豊かな緑に包まれた新拠点の整備により、良好な住空間と産業空間の形成を図る。	歩行者交通量	単位:人/12h	170	H16	204	H20	208	H20
	人口	単位:人	10,975	H15	11,000	H20	10,700	H20
	ダルマガエル岡山種族生息数	単位:匹	6	H14	150	H20	52	H19
	景観満足度	単位:%	31	H16	38	H20	51	H20
	観音院周辺観光ボランティア利用者数	単位:人	597	H16			1,616	H19



まちの課題の変化

・西大寺観音院周辺では案内板、案内サインの整備や道路美化等の整備により、地区の回遊性が高まった。また、住民主体で観音院周辺観光ボランティア組織が発足し、持続的なまちづくり体制も構築された。
 ・東部新拠点では公園、道路の基盤が整備され、地域住民の憩いの場が整備された。また全国都市緑化おかやまフェアの主会場となることと決定しており、地域の活性化が期待される。
 ・新産業ゾーンでは全ての区画で企業立地し、雇用の場が充実した。さらに住空間と産業空間の間に緩衝緑地を整備したことで、緑に包まれた魅力的な雇用の場となった。さらに新産業ゾーン内のダルマガエル生息数以前と比べ増加したが、目標値までは増加させることが出来なかった。
 ・本地区では持続的なまちづくり体制が構築されたが、地区の人口減少傾向は改善されなかった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・地区の賑わい・活性化の取り組みは商工会や住民が主体的に活動しており、今後は行政がそのサポートを行う。
 ・地区内の賑わいを持続するには、観音院周辺地区内の周遊マップ作成、地元住民による観光案内ボランティア組織の持続と強化、西大寺観音院周辺地区と既存のイベントとの連携などが必要である。
 ・地域住民により策定されたまちづくり協定を遵守し、歴史的景観の保全・活用が必要である。
 ・東部新拠点内の基盤整備により地域住民の憩いの場が創出された。全国都市緑化おかやまフェア開催後は、都市機能集積による相乗効果などによる日常生活の利便性を担う機能の向上を図り、新たな地域拠点として会場跡地の活用を進めていく。さらに新たな拠点となる東部新拠点と古い街なみを残す景観整備実施地区とが連携することで、本地区の魅力を高めていく。
 ・新産業ゾーン内のダルマガエル保護区での保護活動を実施していく。